

# 水道料金「合併後に現武雄市民は下がる」約束は 測ノ尾浄水場電機設備更新費用見積り 23億円で H18年度着手 逆に値上の危機！

ハートコミュニケーション

# 栄八通信

第 25 号

14710 月末発行



武雄市議会議員  
**宮本 栄八**  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 合併後の値下げ発言

前6月議会で、古庄市長は、市民に高い水道料金をお願いしながら14億円と多額の剰余金で利益を積み立てているので、市民に還元すべきとの指摘に対し、「合併時の料金統一の中で、現武雄市民分を値下げする」と明言された。

この値下げに、利益積立金を利用するとの意味あいのように、当然と言えば当然だが、本来、水道料金は、通常3年ごとに、経営に必要な分を料金としていただくと言ったのが全国的な公営企業の料金の決め方である。

## 浄水場更新の新見積り

もう一方で、老朽化した測ノ尾浄水場の更新が、計画されていることは通信で何回も伝えていた。3年前は、概算で、7億円とのことでしたが、2年前は、11億円で、利益積立金が12億円程度あったので、それを利用するとの話があっていました。

私は、公営企業法では、利益積立金で、資産の購入はできないのではとの指摘をしていました。

市は、H16年度に、測ノ尾浄水場の電機設備更新の基本計画をコンサルタントに発注し、H17年3月に案が提出されたが、何とびつくり、総額が、23億円であった。(小学校と図書館を建てられる金額)内容は、中央監視関係が約5億円。運転・電設で約9億円。セキュリティで約9億円となっていた。

## 計画性のない企業経営

で、なんと、半年後のH18年度に着手する計画となっている。そこで、今回の一般質問で、市長は、合併時に水道料金を値下げするとの方針だが、測ノ尾浄水場更新の23億円に加え、山内町の(新)中央浄水場の元本返済が始まる(筑後川と嘉瀬川をつないで、水位を安定させる)により、西部広域水道の水利権が増え、その契約分が、水余りにかかわらず、武雄市・北方町に配分され使わなくても支払いはせねばならない。

私が考えるには、「値下げどころか、大幅な値上げが必要になって来るのでは。」との質問に、水道部長は「料金は上がるかなど、将来の計算はしていない。」との答えだった。そこで、私は、「今後の料金の計算も、市民に示さず、半年後のH18年度から測ノ尾の更新に着手されるのか?また、中央監視設備5億円は、合併特例債を利用すべきでないか?の質問をした。

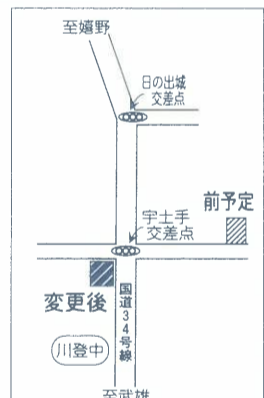
古庄市長は、「今12月に、発注している実施計画ができてくるの



更新は合併後、新市の水道統合計画の中で判断すべき



シルバーケア武雄完成図



## 私と市の方針は同じ 統廃合と民間委託 の具体的な動きが 無いことが問題

再度、私の意見を解りやすく述べると、老朽化している測ノ尾浄水場は、休止し、西部広域水道を中心に、山内町の新しい中央浄水場と若木浄水場の分でまかない1市2町が共に、施設稼働率が50%程度しかないのに、統合し80%程度にして、効率化を図る。

もし、水が必要な時は、西部広域から122円で追加購入すれば問題はない。

また、中央監視施設は、合併特例債を利用し、市民負担を減らす。以上が私の考えです。

## シルバーケア武雄(旧杵島向陽園)建替え実施へ!

川登保育所より、一早早く昨年の10月1日より、三瀬村の(社)敬愛会に民間移管していた、養護老人ホーム(身寄りのない老人施設で介護保険の身体が不自由な人の、特別養護老人ホームとは別もの)だが、設置後、50年を経て、老朽化がはげしく、民営化後、1日も早い改築が望まれていた。

名称が、杵島向陽園から、シルバーケア武雄に変わり、運営しながら、新築する為に旧施設前の広場に建設する計画です。7月に着手。建設費は、6億1695万円、敬愛会が3億5200万円を用意し、市が、5000万円を補助し、残り1億484万円を国県が、2億1484万円を補助する計画で来年4月に完成予定。

## (新)川登保育所の新築予定地が変更!

市立の東川登保育所と西川登保育所、共に、S41年開設で定員は東が60、西が45の計105名です。

跡地利用は未定で、地元活用法などを期待するところです。以前、建設予定地でしたが、場所が、近くに工場などがあり、少し距離はあるものの再考の末に急遽国道34号線の反対側の土地に変更された。



### 近日中に(年家賃2,400万円)で貸す

## 武雄温泉ハイツ経営者決定へ

雇用能力開発機構より、約1千万円で、H16年1月に市が購入。運営は、以前より、市長を理事長とする「佐賀勤労者福祉事業団」という組織を作り、運営している。私は、運営の経営が黒字のうちに、民間に運営移管しないと赤字の場合、市が負担する可能性もあるとの考えから、一般質問で早期移管を提案した。

当時の答えは、「当面は、このまま経営する……」として、福岡のホークスタウンから西岡氏をまねき少し利益を上げていたが、同氏も帰り、利益も低下し新たな対応が必要になったためか、市長は民間貸付を表明され、私としては、ほっとしている。

現在、市長・部長等が理事で、支配人1人、職員・従業員27名とパート10名で運営している。H15年度1600万円の利益だが、H16年度は100万円の利益で、減価償却費をH13年度から落としていないので赤字ではないかと思つた。議会でも、私が償却費を当年度に処理しないと実体が解りにくいと指摘するが、税法上5年間は経営判断で変えられるとの答え。

ところで、今回、建物本体は、市が買った時に、5年間売却できないとの契約なので、その貸付として公募するので、市営の運営委託でなく、市が家主で、テナントを募集している形である。

主な、条件は①家賃2400万円。その根拠は、建物の固定資産税と補修費との考えである。②希望する現職員を雇用すること。③貸付期間は、4年間。④3千万円の自己資金の準備。小さくは地元購入や保養指向などたくさんある。テナントの応募状況ですが、登録されたのは10社あったが、単なる4年間の賃貸しの割には、条件がきびしく、8月19日の締め切りでの正式応募は5社となり、選定委員会、書類選考の上11月始めには正式発表の予定である。

私は、どこを選定するかの目力が最重要との思いから、当初は選定委員を、現理事の市長・部長としてあったが、H16年度の経営では家賃が半額の1千万円なのに、百万円しか利益を上げていない状況。今回、あと1400万円増額し支払う経営者を選ぶのは、自ら採算経営できない者が、できる者を選定する形で、変として外部からの選定委員の採用を求めた。市は県から1人、議員1人に変えた。

年末恒例の、武雄物産まつりが会場の変更を求められている。今後、北方・山内町との合併での変化も出てくるが、今回は、競輪事業を優先し、物産まつりの使用を断った。

これは、ご存知の通り、たけお競輪が、近年基金を取りくずして経営して厳しいことと、以前は、少なかつた他競輪場の場外発売も、年中行っている為に、本場開催のあい間に貸すことが難しくなってきた。

そこで、替わりの場所だが、最終的に、温泉街案と競輪場第5駐車場の2案が残ったが、駐車場の確保の点から、競輪場の駐車場になった。現市最後の物産まつり、大いに市民の方のお出掛けを。例年より少し早い11月26日(土)27日(日)。

### 環境省「温泉保養地指定」と

## 保養村3次計画のゆくえ

平成2年より、整備を進めてきた保養村だが、H7年にはアネックスやH11年には県立宇宙科学館も建設され盛り上りを見せていた。その後、公共宿泊所のほうらい庄は廃止され、武雄温泉ハイツも市に売却されるなど、先行き不透明になって来た。

一方、市民、特に子供を持つ家庭では、市内に1日中遊べる公園が欲しいとの要望も多く、私も、ふるさと創生1億円の残りを残して遊具などの整備を市に求めている。

市は、創生資金は使わず、環境省が進める、「国民温泉保養地」の指定を受け、その補助金を活用して整備しようと考えたようだ。

そこで、議員の中には、もうこれ以上金をかけるなどの意見もある中、保養村第3次整備の基本計画を庁内で作り、市民からのパブリックコメント(意見・提案)を募集し、今回9月補正で300万円、整備計画作りをしている。しかし、聞く所によると、国の構造改革で、国民温泉保養地の補助金が無くなる様で、市のあてがはずれる可能性が出て来た。

ただ市は、補助金がなくなっても、指定だけは受けるつもりで、最終的には、保養村を、トムソーヤの森と位置づけている以上、何らかの整備をしないと行が一致せず、信用を失うことになる。

そこで、市は、新市共通の公園として、合併特例債を活用してでも、整備せねばならないと思う。



東部の雇用人数は合計160人で地元が80%と言う

### 若者の雇用の場を作る

## 東部開発と新工業団地の今後

市民に要望の多い若者の雇用の場の拡大ですが、行政が具体的に実施しているのは、東部開発と若木の武雄工業団地などですが、その近況を報告すると

【東部開発】

現在、12月オープンを目指して店舗ならびに混雑緩和の侵入側道工事がされている模様。

東部開発の方針は、一等農地だが、武雄市に残された、数少ない商業立地と言うことで、市が国土利用計画を2年前に変更して、商業流通業の立地を進めている。全体は、34号線南北42haだが、今回は、約1/3の、九電武雄営業所東の5haのみで、国の農地転用の許可を取って進めている。

国は、計画区域でも、具体的な立地実体がないと開発を認めないとして、まず、第1区の立地が全部埋らなければ次の地区の開発はできないとの説明である。

【若木工業団地】

若木工業団地の残り1区画の立地を進める一方、佐賀県が、大規模工業団地を作る計画で、武雄市でも、誘致活動をし、県に対して予定地の提案をすでに出していると言う。武雄商工会議所も、県知事への要望という形で表明済み。予定地の決定は、18年3月頃と言う。市が提案した場所は、公表されていないが、現在、大量に余っている工業用水の利用等から、工水の本管から近い所と考えられる。広さは、現在の若木工業団地の1.5倍、60ha程度だが若木の場合、6分割しているが、それを今回、1面として利用する模様。私としては、数年に一度のチャンスなので、結果を待つのでなく、強力な誘致運動をしてもらいたい。

さらに、住民の意見反映のために広域圏議会があるが、議員は、構成市町議会代表者で、一般質問等は、市民への情報は少ない。さらに、各議会で、広域圏(一部事務組合)の事は、直接質問できないルールになっているので、何らかの住民と接点を高める必要がある。現在、一般質問では、市長の広域圏に対する考えの形で遠まわしに聞く方法しかない。

一方、ついでに、各事業の予算配分について、簡単に表にしてみました、参考として下さい。

### 杵藤広域圏組合を考える

私は、市の行革も大切だが、同時に、ゴミや介護保険などの生活の基本的事業を共同処理する杵藤広域圏改革も重要と考えます。

しかし、市と別組織の為に、業務の状況が、市民に分りにくいのが現実ではないかと思えます。

そこで、私が、広域圏組合の改革すべきと思う所を少し伝えます。

参加自治体は、これまで、2市10町でしたが、新白石町発足で、現在2市8町で、来年3月には、新嬉野市など、3市4町体制へ。予算総額は、50億円程度で、武雄市は、20%の約10億円を負担。業務は、大きく2つに分けられ

①消防救急事業と②共同処理事業ですが、②の共同処理には、電算・環境・介護保険の3業務があります。

職員は、消防救急200名で、内2名は構成市町からの派遣で、共同処理は、53名の内45名は同派遣職員である。

私が、気になるのは、共同処理の45名もの多くが、3年間の期限派遣であり、専門性が求められる今日、独自の広域圏職員を多く雇用の形が、事業に活力が出る。また、業務の方向性を決めるのは、広域圏ではなく、構成自治体

消防	3億41
介護	3億17
ゴミ	1億20
電算	1億01
葬祭	13
総務	13
施設返債	37



# 私の質問と市の答弁

## 1 行政改革

### ①新市の組織図の見直しを

市民の合併アンケートによれば期待する事として「職員・議員の人員費が削減され効率の良い行政運営ができる。」が61%で1位だった。市は以前より、人員削減は、新市の組織に左右されると言ってきた。前回の協議会で、組織図が確認されたが、本庁方式なのに、山内や北方に多くの課が残り、これでは、総合支所方式と大差なくスリム化されていない。

新白石町では、支所には、地域業務課20名でやっている。ただ、中長期に見直すようになっていくのでそれに期待するしかないが、中長期とは、概ね何年を指すのか。

### 【岩谷総務部長】

新市住民の急変を避けた。また、職員は、首にはできないし、集めれば場所の問題もある。人員削減計画は、10年間で退職者、二百名の半分を採用し百人を減らす。組織の見直しは、新市発足後「行政改革推進課」で進める。また、中期は10年、長期は、長期で特に年限は考えていない。

### ②広域圏の行革の推進

#### 住民参加と独自職員へ

以前、提案した、広域圏の行革

に着手されているようで感謝する。広域圏は、ゴミ、介護など生活に密着して住民には大切だ。ただ、同行革の方針は、構成市町の助役が中心となって進めているが、ここに広域圏住民を集めた行革懇話会など、住民参加の行革推進ができないのか？

また、広域圏の職員は、構成市町から、3年間の派遣であり、業務の専門性ややる気を生み出すには、広域圏独自の職員に変えるべき、各自自治体の適正人員管理にも派遣が多いのは良くないので、市長が広域圏で言ってもらえないか。

### 【古庄市長】

広域圏の会議で議論してみたい。

## 2 福祉行政

### ①公立保育所の民営化や改築を早く進めて

東川登と西川登保育所の統合・民営化や新築の用途はついた。後は、朝日と朝日第2保育所統合民営化・若木保育所民営化は、H15年の計画での公立方針を変更することと、今年度、実施計画を見直すこととされているが、未だに動きがない。私が心配するのは、保育所改築に伴う、国の補助金が、廃止されようとしている。現に、新川登保育所改築に当り、国から補助金が廃止の場合、約1億円を市が負担する約束をしている。

今後ずっと補助金が出る確信があれば良いが、ないなら、1年でも早く国補助のある時、改築をし必要な市の負担をなくすべきでは？

### 【中原民生部長】

実施計画の見直しは今年度中に作る。

### 【古庄市長】

朝日の保育所統合は、現在H22年になっている。(早くできないか)

か)県との話し合いも必要。  
②病後児保育を冬までに実施を共稼ぎの市民にとって、保育園は、子育て支援の柱である。しかし、この保育園から通園を拒否されるのが、カゼや水ぼうそうなどの感染性の病気の時で、最近のカゼは、1週間程度かかる時もあり、両親のどちらかが、会社を休むことになり、武雄市近辺では、何日も休める会社環境にはありません。

その対策として、以前より、病後児保育の実施を提案して来ましたが、適当な場所がないので、嬉野町の施設を利用してもらいたいとの事であった。

しかし、今回作られた、次世代育成行動計画には、施設のいろいろな派遣型を実施する計画であり、また、朝日町には12月に開設される、共生ステーションでも、病後児対応をする計画と聞く。であるならば、市が制度を作って、冬までに実施できるはずでは？

### 【中原民生部長】

民間で作られるなら、民間サービスを利用してもらいたい。  
※後日、共生ステーションに、国24県14市の補助のある制度が利用できるか調整するとの返答が共生ステーション本体の補助金の案件の中で示された。

## 3 商工観光行政

### ①温泉ハイツの精算と選考委員の選定

ハイツの精算について、昨年の売上げでは、1千万円の赤字が出る。もし精算時に、赤字の場合は、武雄市が穴埋めするのか？

### 【大庭経済部長】

赤字のときは、積立金や財産処分に対応する。それでも、赤字が出ることは、想定していない。

### ②企業誘致の具体策は

東部開発や、新工業団地の動きは、分ったが、それを具体化する

には、数年先の話になる。そこで、当面の目標は、若木工業団地の残り1区画を埋めることだ。

来年度より、市設置の合併浄化槽事業が始まれば多量の浄化槽があるので、購入などを条件として、浄化槽工場を誘致するのが可能性が高いのでは。

### 【古庄市長】

それら(浄化槽工場)も含めて企業誘致を進めて行く。

## 4 水道事業 (省略)

### ⑤ 教育行政

①武雄杵島地区に普通高校は不要と思うのか。

### 【庭木教育長】

中高一貫校は普通校とも見れる。

②図書館の金曜1時間延長への新教育長の考え。

### 【庭木教育長】

図書館歴史資料館協議会に、再度はかる。

③2学期制の秋休みは、5日にして気持ちの切り替えが必要では。

### 【庭木教育長】

休みが増えると子供の居場所の問題や保護者の負担が増加するので、このまま行く。

### ④基礎学力向上への考え

### 【庭木教育長】

全国平均の現状から上を目指す方法として、児童が教え合う型。

# 市長提案議案 主なもの

用して実施されて良かった。

### ●合併対策費 1億5997万円

県が、合併する市町に交付する。新武雄市分は5億円で、その1部を準備の費用として先払い。主な支出は、建設部棟を庁舎裏にプレハブで建設する5千2百万円やコンピュータシステムの統合経費が中心。また、ゴミ袋作成費も上げていたが、県交付金の対象とはならなかった。

### ●職員退職金の積立金 1億4000万円

毎年、前年度決算で残があれば、その半額を退職金に積み立てるようになっている。1人約2千数百万円らしく、5人分程度。

### ●シルバーケア武雄改築事業補助金 5000万円

旧向陽園の改築に伴う、国県補助に加え、市も福祉施設補助金を支出する。建設費に対し、一定率で出すが、5千万円が上限。

### ●生活排水処理基本計画策定委託料 354万円

いわゆる、下水道マップ見直しで、来年度から、市が設置する合併浄化槽地区を、どの範囲にするかの計画変更。私は、市民の希望をよく聞いての策定を注文した。

### ●小学校プール改修 7140万円

〈プール塗装〉若木小・武内小〈ろ過器取替〉武内小・東川登小〈更衣室・便所改修〉朝日小 朝日小改修と東川登小改築の空白年度だったが、これまで懸案だったプール改修を9月補正予算を利

### ●文化会館空調設備改修 2625万円

エアコンダクトが古くなっていて空気漏れが多いので交換する。場所は、集会棟(大集会室等ある)

### ●自治公民館改築補助金 武内町鯉淵公民館 30万円

観光協会ホームページ 新版作成補助金 104万円

### ●保養村第3次整備計画策定業務委託料 300万円

委託するコンサルタントは、入札して決める。成果品は、1月中旬の提出と言う。期待したい。

### ●地域共生ステーション推進事業補助金 520万円

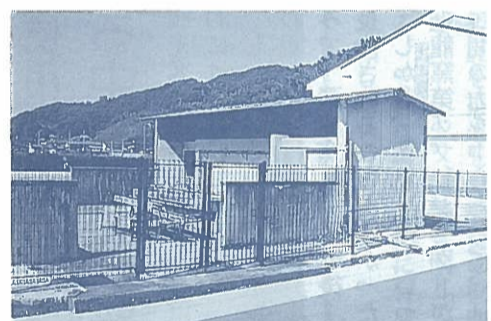
朝日町川上に、民間で、民家を改造して、始められる。具体的には、高齢者・障害者・病後児など、横断的に、デイサービス・一部ショートステイ(宿泊)を担う。

### ●保養村はたる池の棧橋改修工事費 516万円

民家を改造する予定



民家を改造する予定



朝日小のプールの更衣室、校舎改築し、ここだけ老朽化が目立っていた。



保養村はたる池の棧橋改修工事費 516万円



# 公共施設を民間や団体に管理させる 指定管理者 大物なし

H15年6月に、国の法律が改正され、これまで公の施設の管理は公共的団体などにしか委託できなかったのが、市民サービスの向上や経費削減から、民間会社等に委託できるようになっていました。それが、なぜ、今9月議会の中心議案になったのかの理由は、法は、現在の管理委託制度の廃止を、3年間猶予しH18年8月までとする。その後は、民間に開放した指定管理者に委託するのか。また、市が直接管理するかを選択せねばならず、H18年度当初実施の期限寸前の、かけこみ改正とも見れる。

ここで、私が市民の方にお詫びしなければいけないのは、H15年5月には議員に再度なって早々と改訂のことは知らずにいて、市に対象施設が52件もあるにもかかわらず、何ら質問や提案もできなかったことです。

佐賀県においては、県立宇宙科学館や県営住宅管理など、効率化や経費削減効果の大きい施設を委託対象にされています。

一方、武雄市の検討対象物件は現在、社会福祉協議会や体育協会また区などに委託している現在の管理委託制度の廃止に伴う、新制度への衣替えの意味合いが強い。本来の法の趣旨は、図書館や病院・上下水道事業など、大規模公共施設の民間活力導入による効率化による住民サービス向上である。

市も今後は、計画的に指定管理者への委託対象施設を検討して行くとの方針。空白の3年を取りもどすべく積極的実施を期待する。

ところで、今回の具体的対象は、白岩運動公園・眉山キャンプ場・勤労者福祉会館・保養村のサイクル場など10施設を指定管理者を公

また、日輪荘でのデイサービスは、社協に。休日急患センターは医師会に。継続性などから、この2事業については、市が直営とし、それぞれに一部業務委託するため公募はしない。

理由は、福岡西方沖地震による亀裂が主な要因だが、これ以上焚かずに保持しようとの考えか？。変りに、飛龍窯と向窯(小さい登り窯)との中間に15m程度の新登り窯を作り、イベントは続ける計画のようである。

ところで、公共物の災害保険が出ないかと調べて見たが、登り窯はもちろん、全公共施設には、地震保険は無いとの事ではっきり。一方、飛龍窯を修理すれば、約2千万円程度かかり、10年後は再度一部補修も必要らしく、新登り窯の予算は、2千5百万円程度である程度もつとの判断のようだ。ただ、私は、すんなりハイソウですか?とは言えない。

10年前、有田町で開催された、世界森博の、武雄サテライト会場の目玉として、昔在したと言う200mの登り窯を作る夢の様な計画で、また、併設の武雄陶磁器展示館では、武雄市のやきものことが総合的にわかる拠点になる計画だったと思う。

実際には、小さく200m作っても、迫力がないので、まず、23mの大型登り窯とし、残りの用地は確保している。また、当時の石井市長は、スペインのサクラダファミリア(聖家族教会)のように、少しづつ市民運動として延伸して行くとの方針で、当時、私も市が本当に続けて行くのか疑問も呈した。しかし、当時「いで湯と陶芸の里」と言うには、武雄市民自身が、武雄のやきもの事を知らない状況だったので、併設の陶磁器展示館もでき、武雄のやきものを一堂に見て理解できるのなら、



キルンの森公園 川古の大楠公園 勤労者福祉会館 保養村ポート乗り場 保養村モノレール (若木町中山公民館) 矢筈ダム広場 白岩運動場公園施設 眉山キャンプ場 保養村サイクル場

# 日本最大 市長来春10回目の使用で中止発言 飛龍窯に変わる中窯建設の是非

武内町、竹の古場キルンの森公園の登窯の飛龍窯が、来春10回目をもって使用を止めるとの市の方針。理由は、福岡西方沖地震による亀裂が主な要因だが、これ以上焚かずに保持しようとの考えか？。変りに、飛龍窯と向窯(小さい登り窯)との中間に15m程度の新登り窯を作り、イベントは続ける計画のようである。

ところで、公共物の災害保険が出ないかと調べて見たが、登り窯はもちろん、全公共施設には、地震保険は無いとの事ではっきり。一方、飛龍窯を修理すれば、約2千万円程度かかり、10年後は再度一部補修も必要らしく、新登り窯の予算は、2千5百万円程度である程度もつとの判断のようだ。ただ、私は、すんなりハイソウですか?とは言えない。

10年前、有田町で開催された、世界森博の、武雄サテライト会場の目玉として、昔在したと言う200mの登り窯を作る夢の様な計画で、また、併設の武雄陶磁器展示館では、武雄市のやきものことが総合的にわかる拠点になる計画だったと思う。

実際には、小さく200m作っても、迫力がないので、まず、23mの大型登り窯とし、残りの用地は確保している。また、当時の石井市長は、スペインのサクラダファミリア(聖家族教会)のように、少しづつ市民運動として延伸して行くとの方針で、当時、私も市が本当に続けて行くのか疑問も呈した。しかし、当時「いで湯と陶芸の里」と言うには、武雄市民自身が、武雄のやきもの事を知らない状況だったので、併設の陶磁器展示館もでき、武雄のやきものを一堂に見て理解できるのなら、

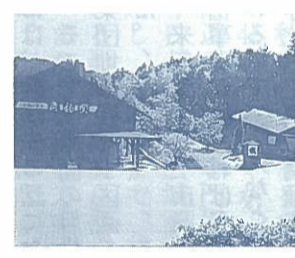
観光客や市民にも良いと思いき最終的には、賛成した。しかし、その後、展示館計画はわずか4畳程度の展示コーナーのみで、飛龍窯も、その後1mも、長くされることもなかった。

しかし、私自身は、いつの日か飛龍窯第2プロジェクトが始まり民間の力を中心として、延長されると最近まで信じていたので、がっかりした。私としては、また中途半端な登り窯を作っても、観光的には、かえってマイナスではないかと思う。飛龍窯が現役であり、1年に1mでも延伸することが、観光客にロマンを与えるのではないかと思う。現実には無理なのかもしれないが、幕末武雄藩は、大砲等の製造用の鉄を作る反射炉を、登り窯で焼いた、レンガで作ったとの説もあり、飛龍窯自身で、自らを延長するレンガを焼いて伸ばして行けば、夢があるし、また観光客が、体験観光として、レンガ作りをするプログラムも記念となるのではないか。

一方、山内町との合併で、三間坂方面から、大型看板等整備し、有田陶器市で集まるやきものファンの開拓も今後期待できる。

要は、今度建設が考えられている、中登り窯には、何のストーリー性もなく、観光的には、逆効果で夢さえ失わせるのでは？。

飛龍窯に、価値があつてこそ、竹古場キルンの森は生き続ける。



左が飛龍窯で右が向窯(中窯)は、中央板の近か?

# 長崎新幹線(西九州) 話し合いは つづくよ どうしても、

必要なら振興策も必要では

長崎新幹線の問題の現状

9月28日、久しぶりに、県と長崎本線存続期成会との話し合いが鹿島市役所で開催されたので、行きました。次の日には、新聞に内容が出るが、私が足を運ぶ理由は、会場の雰囲気や顔色・言い方などから、本音を探る目的です。

今回の議題が、「地域振興策」ではとの期待もありました。

前回の通信でも、鹿島市や太良町のこうむる不利益を、ある程度県が負担しなければ、同意しないのは誰が見ても明らかで、それは振興策と言う名の、損失補償と見えます。

ところで、今回の県の振興策は以前と同じ内容である。

①国道498号線、伊万里〜鹿島の塩田〜鹿島間を自動車専用の高規格道路(例・伊万里〜若木間)を、新幹線が完成する、H29年までに整備する。

②有明海沿岸道路が、福富〜鹿島間H35年開通を、同じ29年に、

JR九州が	運行	赤字	「上下一体経営」
全面経営	施設	18億円	
JR九州 第3セクター	運行	赤字	「上下分離方式」
佐賀県・長崎県	施設	0.7億円(鹿島まで) 3セク分計算なし	駅や線路を佐賀・長崎両県で維持する方式で両県の年間負担は(2億3千万円)と試算
JR九州が運行のみ	運行	赤字	※第3セクターの運行の計画はないので、上下分離方式で、JR九州が運行しないにしろJRが3.6億円をだせば解決も見える。
佐賀県・長崎県	施設	3.6億円	

6年短縮する。の2本柱だが、期成会や傍聴住民は、ほとんど喜んでいない様子。また、会議後に、新聞記者等20名程度と30分間程度、副知事と鹿島市長の2人の会見が慣例、本会以上突っ込んだ話が出るが、記者も、「県が次に何をいつ出すか」との問いが多く、やはり、県の今の小出しの振興策提案では、11月の期限までには、折り合わない様な気がする。逆に、県は、多額の県費を支出してまで、新幹線を作りたい様子にも見える。

もしかししたら、新幹線開通で、年間、40億円の収入を上げる、JR九州に、肥前山口〜諫早間の、運営赤字、3億6千万円を出させようとの深慮の上の行動とも見られる。

**制作後記と今後のプラン**

小泉自民党の大勝に終った総選挙、小泉氏の本気が、法案の内容や複雑な議論より、国民に支持された、結果なのかと思う。

これから、益々本格的に国の借金を減らすべく、地方にも自立を求めて来るものと思う。

しかし、地方分を減らす前に、国の直轄事業の削減も、県・市など地方自治体がまとまって国に求めて行く必要があると思う。

ところで、11月、H16年度の決算の特別委員会があり、そこで議論が、12月のH18年度の予算編成に生かされる部分もある。

通常、一般会計と特別会計の2つに分れて、1年交代で委員をすするが、私は、病院や競輪・水道など、経営の変化を見る為に、3年間特別会計の委員を務めている。